

要請番号 (JL56918B08)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
カメルーン	G182 小学校教育		個別	新規	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2 ・ 2019/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

初等教育省

2) 配属機関名 (日本語)

ンフンディ県初等教育事務所

3) 任地 (中央州ンフンディ県ヤウンデ市) JICA事務所の所在地 (ヤウンデ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

県内の幼稚園及び小学校を管轄する初等教育省の県事務所で、運営指導、教育課程・計画の作成指導、教育統計の作成、教員の研修等を行っている。日本の無償資金協力により建設された小学校を同事務所が管轄している。2011年～2013年に鳴門大学で実施された地域別研修『仏語圏アフリカ理数科分野における教授法/教科指導法改善』に参加した帰国研修員が各々の管轄している(コルビッソン、コンデンギ、エソス)の小学校で授業研究を行っている。配属先の年間予算は約400万円、職員数90名。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

初等教育省は教育分野の優先課題として、①初等教育の普遍化 ②教育の機会へのアクセスと公平性の改善 ③教育の質の改善 ④教育制度の管理運営の改善 ⑤教育関連機関とのパートナーシップの推進を掲げている。同省は、青少年の健全な情操育成に資する教科として、体育科、図画工作科、音楽科、生活実習活動の充実に取り組んでいる。しかし、学校現場の認識不足、教員の指導技術欠如、教材の不足等々の事情からほとんど実施されていない。この改善を目的に2006年より小学校教育JV(青年海外協力隊)が国内各地の学校で活動を始めたことから、「青少年の健全な情報育成に資する意図的・計画的活動」の重要性への理解が浸透し、現地教員の興味も高まってきた。今般、同教育の定着に向けて強い要望があり要請となった。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

県事務所及び活動先の学校関係者と協力して以下の活動を行う。

1. 教育関係者に対し、初等教育における「青少年の健全な情操育成に資する意図的・計画的活動」の重要性の理解促進・定着を図る。
2. 現地教員と協働で「算数科、体育科、音楽科、図画工作科」等の授業を行う。
3. 帰国研修員と共に授業研究会の定着と実施を行う。
4. 授業の効果を高める自作教具等を提案する。
5. 他の小学校教育等のJV(青年海外協力隊)と協力して活動の成果・向上を目指す。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教室(黒板、机、いす)

4) 配属先同僚及び活動対象者

県事務所長:男性40代
視学官:女性7名(各区の1名)40-50代
校長、教員(県事務所管轄小学校)

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

フランス語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(小学校教諭)
(数学/理科/音楽/美術/保健体育科免許)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(指導経験) 3年以上 備考：教員との協議・連携を図るため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(15～33℃位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(不安定)

【特記事項】